

県と市町村の連携・協働による「奈良モデル」を推進します。



「奈良モデル」に基づく市町村との協働まちづくり、市町村支援による行政効率化

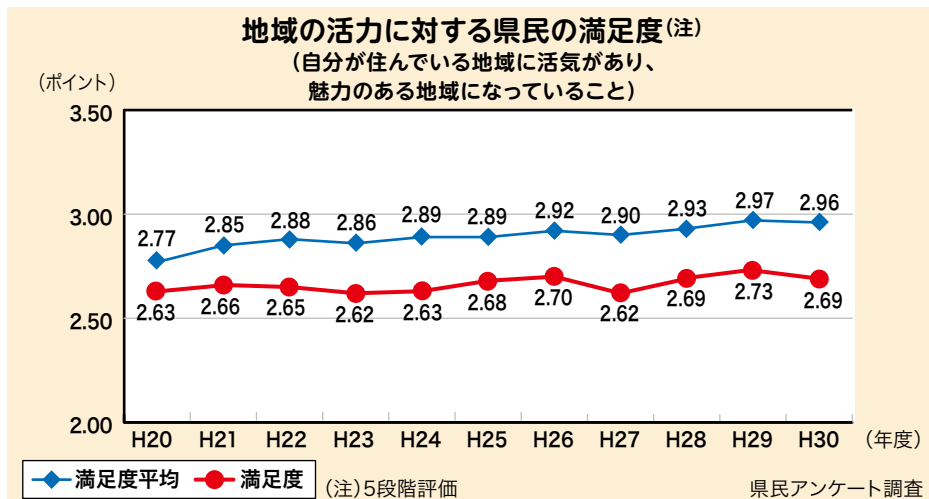
主担当部局：地域振興部



奈良県・市町村長サミット(市町村会館)

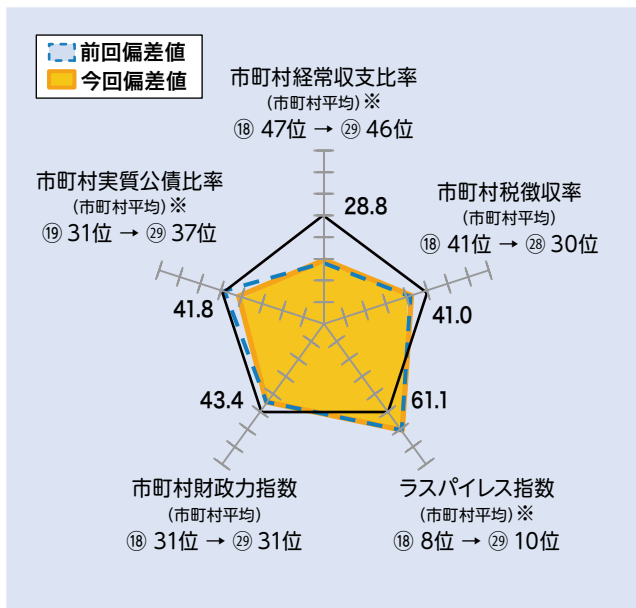
◆ 目指す姿

平成39(2027)年度までに、県民アンケート調査における**地域の活力に対する県民の満足度**(自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること)を**3.00ポイント**に向上させます。

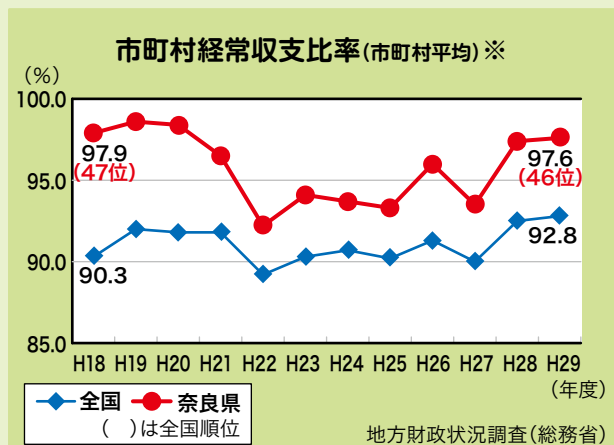


◆ 目指す姿を達成するための取組状況

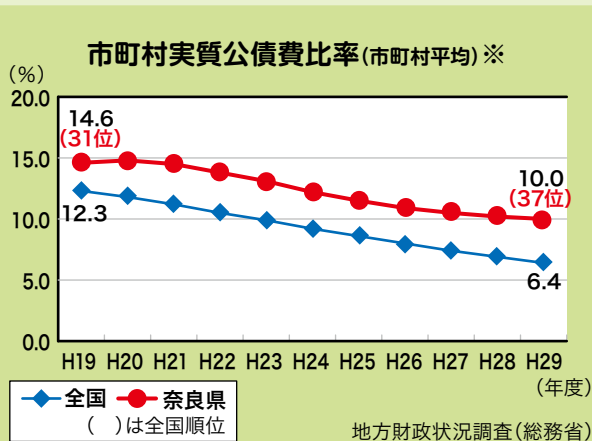
《 現状 》



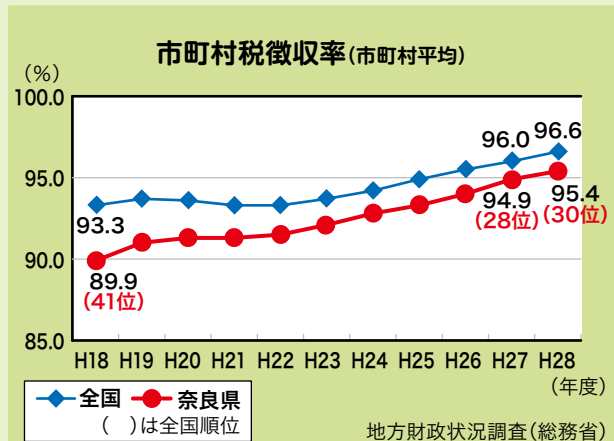
《 トレンド 》



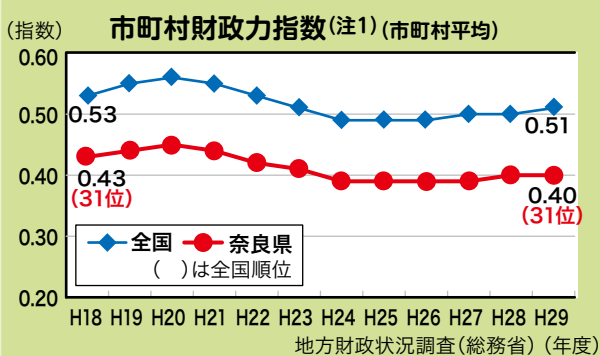
市町村経常収支比率(市町村平均)は、平成18年度以降、全国平均を上回っており、平成29年度は全国平均を4.8ポイント上回りました。



市町村実質公債費比率(市町村平均)は、平成19年度以降、全国平均を上回っており、平成29年度は全国平均を3.6ポイント上回りました。

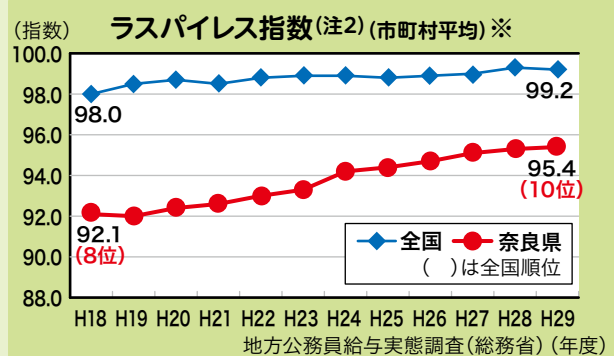


市町村税徴収率は、各市町村の徴収対策への取組により、平成21年度以降、上昇を続けており、平成28年度は、前年度と比べて0.5ポイント上昇しました。



(注1) 財政力指数… 地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえます。

市町村財政力指数(市町村平均)は、平成18年度以降、全国平均を下回っており、平成29年度は全国平均を0.11ポイント下回りました。



(注2) ラスパイレス指数… 地方公務員と国家公務員の給与水準を国家公務員の職員構成を基準として、学歴別、経験年数別に平均給料月額を比較し、国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給与水準を指数で示したものの。(H24～H25年度のラスパイレス指数は国家公務員の給与と改定特例法による減額措置が無いとした場合で算出しています。)

平成29年度のラスパイレス指数は、平成18年度と比べて3.3ポイント上昇しましたが、全国と比べて低い状態が続いています。

※は数値の低いものが上位になる指標です。



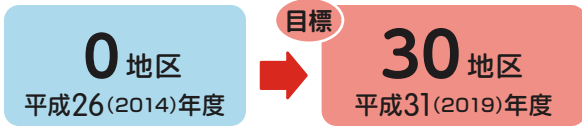
戦略 1

県と市町村とが連携協定を締結し、協働でまちづくりを推進します。

● 担当課: まちづくり推進局 地域デザイン推進課

◆ 戦略目標

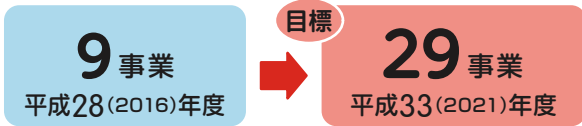
まちづくり基本構想策定地区数(累計)



まちづくり基本計画策定地区数(累計)



まちづくり個別協定締結事業数(累計)



◆ 主な取組

項目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
基本構想策定及び基本協定締結に向けた支援	各地区ごとのまちづくりの取組への支援		
基本計画策定に向けた支援	各地区ごとのまちづくりの取組への支援		
個別協定締結に向けた支援	個別事業ごとのまちづくりの取組への支援		



五條市・五條中心市街地地区
賑わい広場の整備イメージ(H30年4月時点)



桜井市・大神社参道周辺地区
参道の整備イメージ(平成30年2月時点)



戦略 2

「奈良モデル」に基づく市町村支援により、行政効率化を推進します。

● 主担当課：地域振興部 市町村振興課

◆ 戦略目標

市町村経常収支比率の全国順位



事務の共同処理(法定)件数



◆ 主な取組

項目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
県域財政マネジメントの推進	市町村財政の見える化、分析・検証による健全化の推進		
広域連携による行政効率化の提案・調整	奈良県・市町村長サミットの開催		



橿原市・高取町・明日香村による「一般廃棄物(可燃ごみ)の処理に関する協定」調印式(クリーンセンターかしはら)



簡易水道の浄水処理への技術支援(上北山村西原地区)